

認定職業訓練施設訓練概要

都道府県	三重県
訓練実施事業主等名	鈴鹿建設高等職業訓練校
訓練科名	木造建築科
職種	大工業
訓練風景画像等	
訓練概要	<p>建設産業で働く人たちの職業能力を高めるための学校です。訓練生は親方、事業主の下で働きながら、訓練校で週1回の訓練を受けます。</p> <p>「働きながら学ぶー職場も学校」、実際の仕事を通じて、基本的な技能・技術を身につけ、仕事の役にたつ能力を身につけるため、それらと関連する原理や理論についても勉強します。</p> <p>実習では手道具や電動工具、さしがねの使い方から、小屋組・廻り階段・床の間、そして技能検定の課題や振れ垂木等を学びます。座学では計画・法規・構造・施工・設計製図・測量等を総合的に学習します。</p>
主なカリキュラム	<p>学科訓練は、建築に必要な基礎学科(法規、構造力学など)と専攻学科(材料、工作法、施工法など)、一般教養を学びます。家造りに欠かせない製図の実習も行います。パソコンを使った訓練も行います。ワープロ操作やCAD技術を習得します。</p> <p>実技訓練は、ノミ・かんなど道具の手入れから、継手、仕口工作の実習等に取り組み、家造りの基礎となる技能を学びます。また、風呂椅子、二方転び踏み台の製作を通し、伝統技術としての規矩術を学びます。</p> <p>研修会・修学旅行・スポーツ交流等を行い、見聞を広め、訓練生同士の交流を深めます。</p>
訓練実施者の声	<p>3年間の訓練校普通課程を修了し、技能照査を合格して、国家資格の技能検定取得や建築士の取得など、建築大工の伝統的な木造在来工法の伝承と新しい技術の習得をはかり、社会に即応できる技術者を育てています。訓練校の経験を、生涯役立ててほしいと思います。</p>
受講者の声	<p>同世代の仲間ができます。卒業生には訓練校をきっかけで、仕事・プライベートで付き合い・活躍されています。</p> <p>現場でプレカットの普及により減少している手刻みなど、木造在来軸組み工法を学べます。</p>